

社団法人 地盤工学会
技術普及委員会
 平成20年度第1回議事録

日 時	平成20年 6月 10日(火) 15:00~17:00					会 場	地盤工学会会議室	
委員長	古屋 弘	○	副委員長	小林 恒三	○	幹 事	原 忠	○
幹 事	竹山 智英	○	委 員	前川 太	○	委 員	白石 保津	○
委 員	石井 建樹	×	委 員	山田 悦子	○	委 員	伊藤 和也	○
委 員	舟橋 景介	○	委 員	北田 貴光	○	委 員	谷本 俊輔	×
委 員	王 林	×	委 員	今井 優輝	○	委 員	水野 健太	×
○：出席 ×：欠席 △：未定								

議 題：

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (別添資料1)
2. 前回議事録の確認 (資料20-1-1)
承認された。
3. 平成20第1回理事会報告(議事録)(4/25) (資料20-1-2)
 - ・ 選挙(正副会長選挙, 代議員選挙)方法の変更に伴う規定類の改定.
 - ・ 創立60周年記念事業委員会に技術普及委員会から1名派遣する.
 - ・ 下記の改定基準案を「地盤工学会誌」平成20年7月号に公示し, 意見を徴収する.
 - ① 室内試験関係基準「63件」
 - ② 杭の水平載荷試験方法
4. 平成20第1回事業部会報告(議事録)(5/12) (資料20-1-3)
 - ・ 平成19年度の収支差はほぼ予算どおりであったが, 一般会計の黒字は受託業務が大半を占めているため, 来年度以降の継続性については期待が薄い.
 - ・ 地盤工学・実務シリーズ26「薬液注入工法の理論・設計・施工」について, 故田村昌仁氏が執筆している部分があり調整のため出版が延伸している.
 - ・ 長期滞留出版物の問題は, 事業部規定「⑩事業部出版の在庫図書の調査と長期滞留出版物の処分に関する要領」に準じて作業を進めている.
 - ・ 平成20年度事業部会には技術普及委員会の幹事以上が出席する. また, 広報委員会の連絡員として, 技術普及委員会から1名派遣する.
5. 講習会, 開催報告および収支報告 (資料20-1-4)
 - ・ 5月開催の講習会収支は概ね良好であった.
 - ・ (資料20-1-4)の予算と実績で会費が異なる理由は, 実施工程の変更(1日から半日)等である.

(1) 5月(会場:学会会議室)

講習会名	会場	会員	非会員	学生	後援	参加者	予定	率(%)
	開催日	予算の収支差		実績の収支差				
続・土壌・地下水汚染の調査・予測・対策講習会	学会大会議室	56	16	2	0	75	42	178
	5月15日	129,960		322,641				
地盤環境振動対策工法講習会	学会大会議室	56	17	3	2	78	75	104
	5月23日	395,300		419,077				
地下水を知る講習会	学会大会議室	47	11	0	2	60	40	150
	5月26日	126,320		333,103				

6. 事業部一般会計収支報告

(資料20-1-5)

- ・ 予算額では約 200 万の黒字であるが、収支の部には一般管理費(事務局人件費は除く)が計上されていないため、注意が必要である。

審議事項

1. 平成20年度技術講習会進捗

(資料20-1-6)

- ・ 「近接工事の調査・設計・施工技術」は10月に建築学会で同様の講習会があるため、開催時期を1月～2月として再度調整する。
- ・ 「薬液注入工法の理論・設計・施工講習会」は10月までに新刊本が出版されなければ中止となるが、出版の可能性は低い。その場合、地盤工学会会員に中止の報告をする必要がある。なお、本件は6月13日の事業部会で報告を行う。
- ・ 「地盤工学の時代を築いた人々講習会」は諸事情により中止となった。
- ・ 「第2回 実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会」のように副講師がいる講習会では、今後プログラムに副講師の名前も記載する。
- ・ 何か問題が生じた場合にはすぐに事務局および古屋委員長へ相談すること。コース制の導入に伴い、講習会の中止は避けなくてはならない。

(1) 6月開催

地盤の動的解析-基礎理論から応用まで講習会	(6月12日)	白石委員
土質・基礎に関する技術-技術士受験のポイント講習会	(6月19日,20日)	竹山委員

(2) 7月開催

はじめて学ぶFEM講習会	(7月14日,15日)	事務局
地盤・耐震工学入門講習会	(7月25日)	白石委員

(4) 8月

三軸圧縮実技試験講習会	(8月6日～8日)	水野委員
実務における圧密沈下予測とその対策技術講習会	(8月22日)	竹山委員

(5) 9月

第2回 実務者のための土と基礎の設計計算演習講習会	(9月3日～4日)	山田委員
わかって使うFEM講習会	(9月24日～26日)	事務局
GISの防災・環境への適用講習会	(9月30日)	北田委員
やさしい土質力学とその実用例講習会		今井委員
山岳トンネル工法の調査・設計から施工まで講習会		谷本委員
近接工事の調査・設計・施工技術		今井委員

(6) 10月

液状化を考慮した地盤と構造物の性能設計講習会(別添資料2)
さまざまな地盤災害と地形・地質講習会
土構造物のメンテナンス講習会
建設・産業副産物の地盤工学的有効利用講習会
地盤調査の方法と解説講習会
基礎構造物の信頼性設計法講習会
斜面の安定・変形解析入門-基礎からメカニズム、実例まで-講習会

原委員
前川委員
舟橋委員
石井委員
石井委員
舟橋委員
前川委員

(7) 11月

海外工事・国際協力講習会
リスク工学と地盤工学講習会
土の弾塑性構成モデル(電子出版10月予定)
わかりやすい構造物基礎(出版10月予定)

(11月25日)

伊藤委員
伊藤委員
竹山委員
前川委員

(8) 12月

基礎構造物の設計に関する新技術・新工法講習会
シールドトンネル工事の設計・施工講習会
直下地震に対する地盤工学会からの提言講習会
設計用地盤定数の決め方-岩盤-講習会
設計用地盤定数の決め方-土質-講習会
建設工事と環境負荷低減技術(出版12月予定)
はじめて学ぶ土壌・地下水汚染講習会(出版12月予定)
地盤防災のための基礎知識(他分野から見た地盤防災)講習会

舟橋委員
石井委員
王委員
谷本委員
水野委員
伊藤委員
北田委員
王委員

(9) 開催時期未定

薬液注入工法の理論・設計・施工講習会(出版時期未定)

原委員

(10) 今年度開催中止

地盤工学の時代を築いた人々講習会
年間行事スケジュール

古屋委員長
(資料20-1-7)

2. 講習会改革:

(ア)H20コース制に関する検討

(別添資料3~5)

- ・ 地盤工学会会員よりコース制についての意見書を頂戴した。4項目のうち3項目は古屋委員長から回答するが、残り1項目はコース制規定に係わる問題のため、次回委員会で再度回答を審議する。

(イ)講習会オンデマンド化

(別添資料6)

- ・ オンデマンドDVDのサンプル版に対する意見が紹介された。
- ・ 新任の委員には当DVDを回覧する。

(ウ)学会HP出版物ショッピングカートに関連講習会のURLをリンクする(資料20-1-8)

- ・ ショッピングカートに関連講習会のURLをリンクすることは承認された。
- ・ 次回委員会でHP編集の見積り報告があるため、運用方法等は次回審議する。

(エ)学会本部メーリングリストでのPRについての問題点

- ・ 現行の講習会 PR は情報量が少ないため、リード文を加えるなどの処置をしたい。これに対する意見を次回委員会で徴収したいため、各自メーリングリストを確認しておくこと。

3. その他

- ・ 広報委員会および創立60周年記念事業委員会への事業部からの派遣（各1名）
 - ・ 広報委員会：山田委員，記念事業委員会：北田委員を派遣することで承認された。
- ・ WEBラーニングについての検討
 - ・ 本年度も応募する旨報告された。
- ・ 次年度（平成21年度）講習会テーマ案の検討（10月確定に向けて）
 - ・ 各自テーマ案を考えておくこと。
- ・ 次回委員会開催日 平成20年7月22日（火）15：00～17：00
(事業部会は同日17：00～18：00)

特記事項として：事業部会(6月13日)への提案・報告事項

- ・ 開催日およびプログラム決定講習会
- ・ 学会本部メーリングリストでのPRについての問題点
- ・ 講習会オンデマンド化
- ・ WEBラーニングについての検討
- ・ 薬液注入工法新刊本の出版延伸の問題
- ・ コース制に寄せられた意見の報告
- ・ 事業部会メンバーの確定